

# 大鰐町公共施設等総合管理計画

## 概要版



### 策定の背景と目的

これまで、数多くの公共施設等の整備が進められてきましたが、今後老朽化する公共施設等に関わる建て替えや改修などの更新費用も増加することが予想されます。財政面においても、社会構造の変化や税収の減少等もあいまって、厳しい財政状況になりつつあります。

これらを鑑み、早急に公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことで財政負担を軽減し平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要とされています。

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～」が平成 25 年閣議決定され、「インフラの老朽化が急速に進展する中、＜新しく造ること＞から＜賢く使うこと＞への重点化が課題である」との認識の下、「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。

平成 26 年 4 月には各地方公共団体に対して、保有する公共施設等の状況、更新費用の見込みと基本的な方向性を示した「公共施設等総合管理計画」の策定要請がありました。

大鰐町（以下、「本町」という。）では、住民と共に課題に取り組み、より良いまちづくりの将来設計の指針として、「大鰐町公共施設等総合管理計画」（以下、「本計画」という。）を策定することとしました。

### 計画期間

計画期間は平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間とします。

### 取組体制

施設の各課を横断的に管理し、一元的な管理を行い、施設を効率的に維持管理する目的で、公共施設等マネジメント推進体制を構築します。

本計画の推進に当たっては、施設総体を把握し、一元的に管理する総括組織として「公有財産の活用等に関する検討委員会（事務局企画観光課）が統括します。

本体制は次の項目を実施していきます。

#### 財政との連携

効果的かつ効率的なマネジメントを実施していくためには財政課との連携が必要不可欠です。

#### 住民との協働

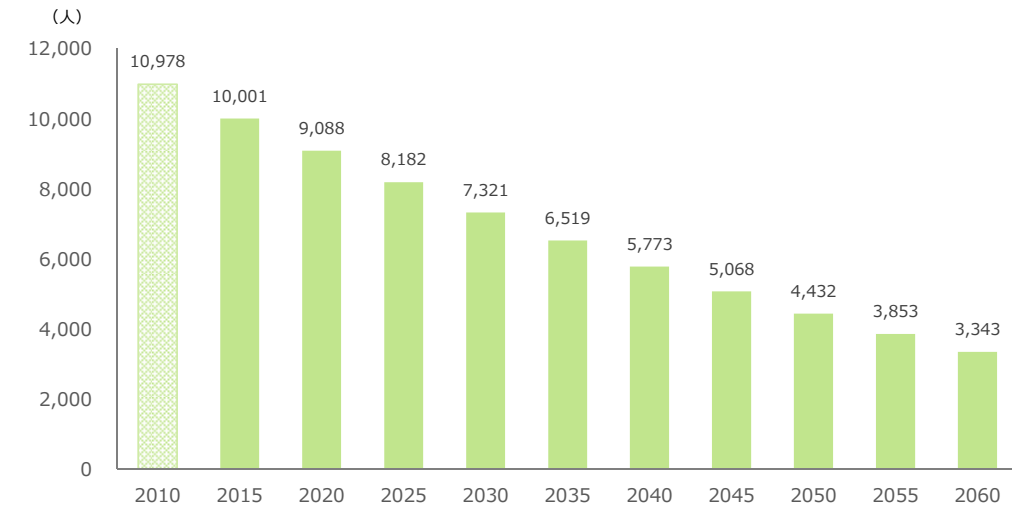
住民と行政の相互理解や共通認識の形成など、協働の推進に向けた環境整備を行います。

#### 職員の意識改革

職員一人ひとりが公共施設等マネジメント導入の意義を理解し、意識をもって取り組み、住民サービスの向上のために創意工夫を実践していきます。

### 人口の推移と見通し

本町の人口は 1960 年の 18,777 人をピークに減少傾向が続いており、2010 年には 10,978 人となっています。大鰐町人口ビジョンにおいては将来人口の見通しは、2040 年には 5,773 人、2060 年には 3,343 人になると予測されています。

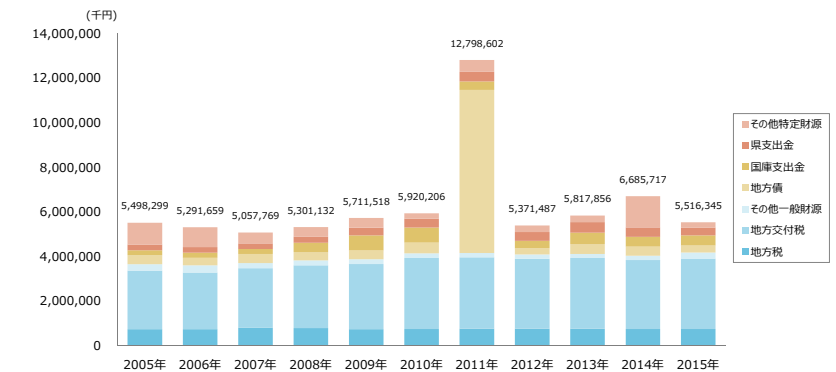


### 財政状況

#### 歳入の状況

本町の歳入総額は、2011 年を除き、約 50～70 億円で推移しています。

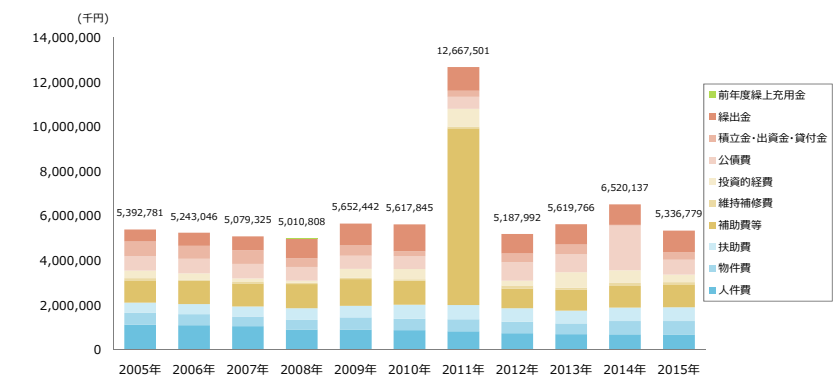
2015 年の歳入総額は 5,516,345 千円となっており、前年に比べ 1,169,372 千円の減少となっています。



#### 歳出の状況

本町の歳出総額は、2011 年を除き、約 50～70 億円で推移しています。

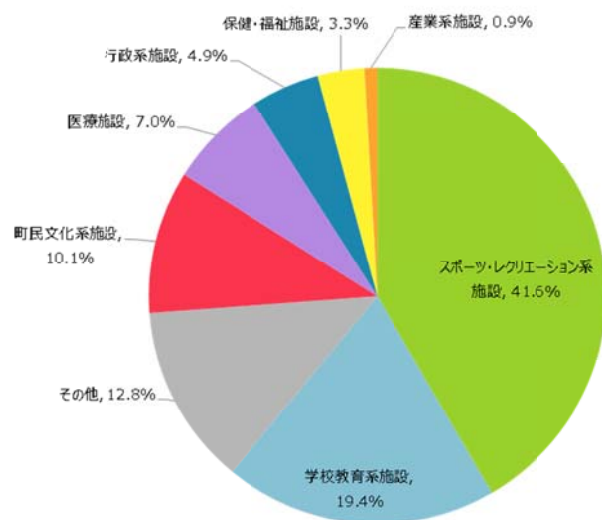
2015 年の歳出総額 5,336,779 千円のうち、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が約 4 割を占めています。



## 対象施設

原則、本町の所有する全ての施設を対象とします。

### ▼施設分類ごとの延床面積比



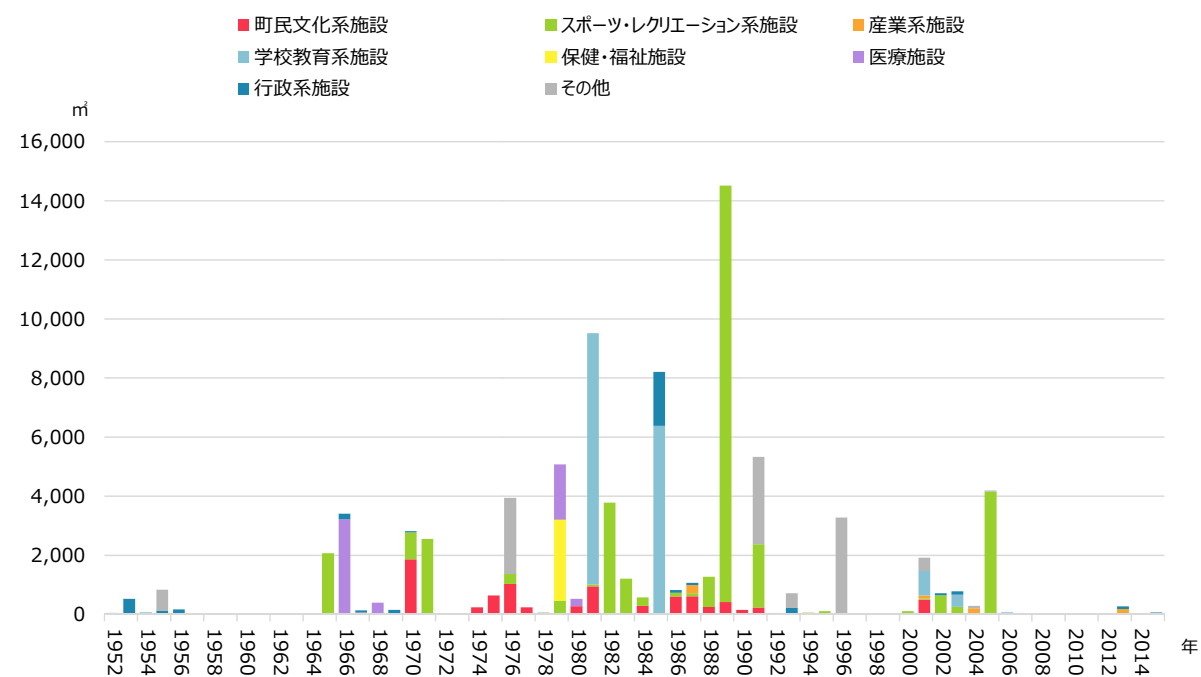
### ▼施設分類ごとの施設数と延床面積

大分類	施設数
スポーツ・レクリエーション系施設	40
学校教育系施設	11
その他	16
町民文化系施設	23
医療施設	7
行政系施設	23
保健・福祉施設	2
産業系施設	4
計	126

### ▼築年別整備状況

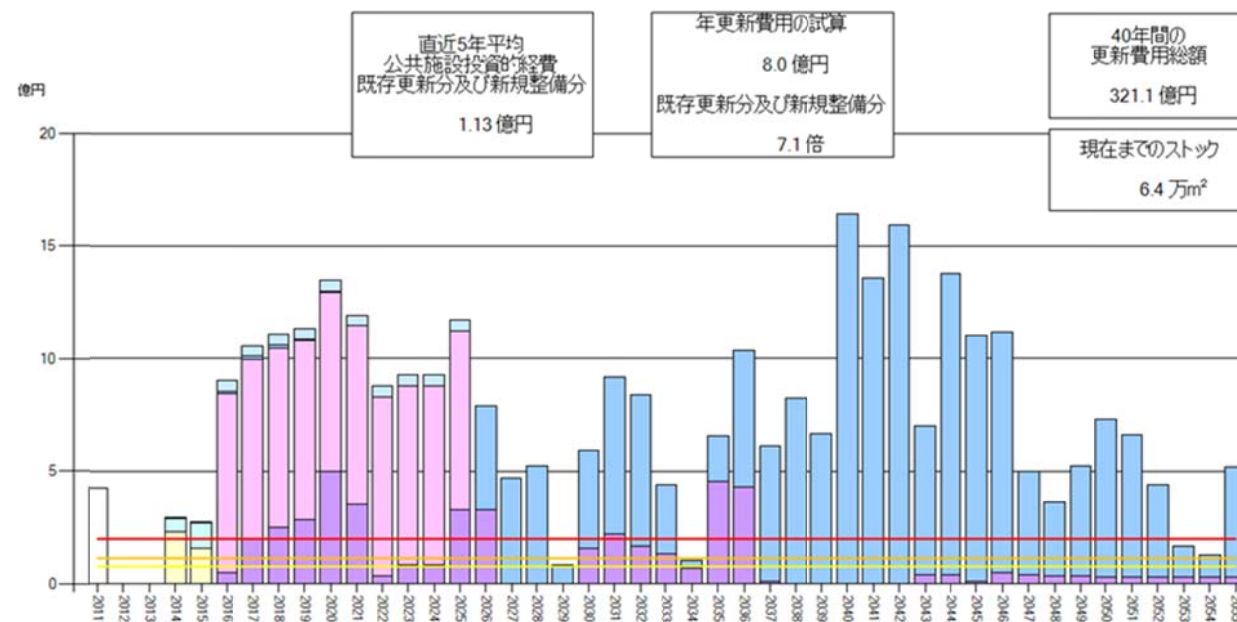
公共施設等（道路、橋梁等のインフラを除く）全体としては、総延床面積は約 8.3 万㎡、一人当たり 8.6 ㎡となっています。

本町の公共施設の中で、築 30 年以上の建物は延床面積比で 57.9%となっており、「品質の適正性」の観点から大規模な改修や更新の時期を迎えているといえます。



## 更新費用の推計

全ての建築系公共施設及び土木インフラの更新費用を試算した結果、今後 40 年間で 321.1 億円（年平均 8 億円）掛かることがわかりました。



## 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### ①新規整備について

町の振興計画を踏まえた上で、住民ニーズと施設の機能重複等を勘案し、新規の公共施設整備に当たっては慎重に整備を検討します。

### ②施設の更新（建て替え）について

現状及び将来の利用動向を踏まえ、保有すべき施設については予防保全管理の考えのもと、長寿命化を図りながら施設を維持し、最小限の建て替えを目指します。

### ③施設総量（総床面積）について

現在、小学校の統廃合が終了しており、その他の施設についても老朽化、住民利用度、集客率等を検証しながら施設総量の適正化を目指し、本計画対象期間中において総延床面積 18%の削減を目指します。

### ④施設コストの維持管理、運営コストについて

住民サービス水準の維持・向上を図りながら、管理運営に掛かる維持管理費や運営コストの低減を前提にした施設運営を目指します。

大鰐町公共施設等総合管理計画 概要版

発行：大鰐町 企画観光課 管財係

住所：青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館5番地3 / TEL: 0172-48-2111